

## 目次

謝辞.....	i
目次.....	ii
表一覧.....	vi
図一覧.....	x
第1章 序論.....	1
第2章 ライティングにおける結束性の位置づけ.....	4
2.1 言語能力における結束性の位置づけ.....	4
2.1.1 Bachman (1990) の言語能力モデルから.....	4
2.1.2 Celce-Murica et al. (1995) の言語能力モデルから.....	5
2.2 ライティング・プロセスの中での結束性の位置づけ.....	7
2.3 ライティングにおける結束性とコミュニケーション.....	9
2.4 ライティングにおける結束性の位置づけ.....	10
2.5 「文章タイプ」の種類と定義.....	12
第3章 文法的結束性の定義.....	16
3.1 Halliday and Hasan (1976) の結束性.....	16
3.1.1 文法的結束性の概要.....	16
3.1.2 接続.....	16
3.1.3 指示.....	17
3.1.4 代用.....	19
3.1.5 省略.....	19
3.1.6 結束性を構築する語の分類例.....	19
3.2 接続表現.....	20
3.2.1 接続表現の下位分類.....	20
3.2.2 接続表現の新たな分類方法 (metadiscourse marker).....	21
3.3 文法的な結束関係が果たす役割.....	23
第4章 ライティング評価基準や既成の言語能力枠組みにおける結束性.....	26
4.1 ライティングの評価基準や言語能力枠組みの実例.....	26
4.2 ライティングの評価基準や言語能力枠組みに見る文法的結束性の総括.....	34
第5章 先行研究.....	36

5.1	ライティングにおける文法的結束性についての先行研究の概観	36
5.1.1	ライティングの熟達度と結束性の関係性についての研究	36
5.1.2	母語話者と非英語母語話者の比較による研究	38
5.1.3	接続表現の使用についての研究	40
5.1.4	指示表現の使用についての研究	41
5.1.5	代用と省略の使用についての研究	43
5.2	日本人英語学習者のライティングにおける文法的結束性についての先行研究	43
5.2.1	日本人英語学習者に関する先行研究の紹介	43
5.2.2	日本人英語学習者に関する先行研究の総括	50
5.3	先行研究における課題と問題点	53
5.4	本研究における研究課題	55
第6章	研究	57
6.1	研究デザイン	57
6.2	分析対象とする文法的結束性に関わる要素	57
6.2.1	接続、指示、代用、省略 (Halliday and Hasan, 1976)	57
6.2.2	接続表現	58
6.2.3	指示表現	59
6.3	参加者	59
6.4	ライティング課題	61
6.5	ライティング課題の評価	63
6.6	結束表現と表現の使用の診断	64
6.7	データ分析方法	65
6.7.1	頻度の比較方法	65
6.7.2	種類の比較	66
6.7.3	統計的手法の分析対象	67
第7章	結果 (研究1)	68
7.1	作文の基本統計量	68
7.2	分析対象となるデータの抽出	70
7.2.1	接続表現の分析対象データの抽出	70
7.2.2	指示表現の分析対象データの抽出	83

7.2.3	代用と省略の対象表現の抽出 .....	87
7.2.4	誤りの総括.....	87
7.3	グループ間の比較分析.....	88
7.3.1	接続表現の使用頻度の比較.....	88
7.3.2	接続表現の種類数の比較 .....	91
7.3.3	指示表現の使用頻度の比較.....	95
7.3.4	指示表現の種類数の比較 .....	98
7.3.5	代用表現の使用の比較.....	101
7.3.6	省略表現の使用の比較.....	101
第8章	結果（研究2） .....	102
8.1	作文の基本統計量.....	102
8.2	分析対象となるデータの抽出.....	103
8.3	グループ間の比較分析.....	106
8.3.1	接続表現の使用頻度の比較.....	106
8.3.2	接続表現の種類数の比較 .....	111
8.3.3	指示表現の使用頻度の比較.....	118
8.3.4	指示表現の種類数の比較 .....	122
8.3.5	代用表現の使用の比較.....	127
8.3.6	省略表現の使用の比較.....	127
第9章	考察.....	128
9.1	結果のまとめ.....	128
9.2	研究1.....	129
9.2.1	接続表現.....	129
9.2.2	指示表現.....	139
9.2.3	研究1の成果.....	143
9.3	研究2.....	147
9.3.1	高校生の発達.....	147
9.3.2	大学生の発達.....	150
9.3.3	研究2の成果.....	152
9.4	比較研究の成果 .....	154

第 10 章 教育的示唆.....	156
10.1 ライティング指導への示唆.....	156
10.2 発達段階を考慮した指導の提案.....	161
10.3 既成の評価枠組みの精緻化への提案.....	163
第 11 章 今後の課題.....	168
11.1 結束性へのアプローチ方法.....	168
11.2 参加者レベルとライティング課題の実施期間.....	170
11.3 文章タイプ.....	171
11.4 表現の下位分類.....	172
11.5 誤用の扱い.....	172
11.6 統計手法.....	173
11.7 総括.....	174
参考文献.....	176
付表.....	189
和文要旨.....	207
英文要旨.....	211